

【別記 1】

実 施 要 領

〔 愛媛県立南宇和病院清掃業務 〕

1 目 的

病院内の衛生環境を最良に保ち、入院患者及び外来患者に清潔感を与えることにより、地域住民への医療サービス提供の向上を図る。

2 建物の概要

建物の配置図、平面図並びに各部屋面積は、別記2「仕様書」のとおり。

3 清掃区域及び清掃要領

(1) 清掃区域

病院棟、屋外、その他（別紙平面図）の清掃をするものとする。

(2) 清掃要領

(ア) 床面の清掃

フローリング等の清掃は、モップ拭き（必要に応じて雑巾）。
タイル面等は、箒または水洗清掃。

(イ) 調度品の清掃

机、椅子その他は、雑巾による拭きとり清掃を行うこと。

(ウ) 扉、間仕切り、窓枠、棚等の清掃

はたき、雑巾等により清潔に保つこと。

(エ) 洗面所、浴室、トイレの清掃

水洗、必要に応じ薬品を用いて洗浄を行い、拭きとること。
汚物がある場合は、搬出処理すること。

また、薬液の補充（薬液代は病院負担）、トイレットペーパー（病院負担）の補給をすること。

(オ) ハンドドライヤー

手洗場所に設置してあるハンドドライヤーは、水受けカップを外し、溜まった水を捨て、汚れを水で洗い流すこと。

また月 1 回フィルターの掃除を行うこと。

(カ) ゴミ箱の清掃

ゴミ箱は常に清潔に保ち、分別収集に注意すること。

(ゴミ箱及びゴミ袋は病院負担)

(キ) 玄関付近、駐車場、救急入口付近、外庭等の清掃

モップ、箒等を用い、紙屑、ほこり、たばこ吸い殻等を除去して常時清潔にし、美観を保つこと。

(ク) 屋上及び屋外部分の清掃

紙屑、ナイロン屑等を除去するほか、排水溝等の点検、清掃を行うこと。

(ケ) その他

畳、窓ガラス、照明器具、天井、壁等の清掃及び汚物搬出処理については、建物の各素材の特性を検討して最適の清掃用具を使用すること。

(コ) 廃棄物

所定の方法により廃棄物を収集し、飛散しないように所定の廃棄物保管場所に移動、整理すること。

(廃棄物は別途収集運搬業者、処分業者に委託して処分する)

(サ) 病室

患者の病状等で清掃できない場合等は、退院時などの病院職員が指示した時間に清掃を行うなど、病院業務に支障のないようにすること。

(シ) 業務の確認

清掃従事者は、各階トイレ及び主な箇所に設置している掲示板（ホワイトボード）に、清掃終了毎に日時及び清掃者名を記載すること。なお、この掲示板等の消耗品は病院の負担とする。

(3) 一般的事項

(ア) 乙は、契約書及びこの実施要領並びに別紙仕様書等に基づいて、常に清掃従事者に対し、業務の指導徹底を図る。

また、乙及び乙の清掃従事者は、契約書及びこの実施要領並びに別紙仕様書等に基づいて行われた病院職員の指示事項には、忠実に従い遂行しなければならない。

(イ) 乙及び乙の清掃従事者は、業務上知り得たプライバシーの保護に万全を期し、他に秘密を漏らしてはならない。

このことは、契約期間終了又は解除後においても同様とする。

乙は、研修等を通じて清掃従事者に、個人情報保護の重要性を十

分認識させること。

(ウ) 乙は、配属従業員の氏名、性別、配属部署等の一覧表を甲に届け出ること。

(エ) 乙及び乙の清掃従事者は、建物その他の破損及び異常を発見したときは、直ちに甲に報告し指示を受けること。

(オ) 清掃従事者は、病院の業務に支障にならないよう配慮し、また患者、来客者に対しての言動及び態度等に品位を保つよう注意すること。

(カ) 清掃業務に必要な電気及び水道は病院の負担とする。ただし、使用は必要最小限にとどめること。

(キ) 清掃業務完了箇所において、不備または不良箇所が認められる場合は、甲は、再度の業務実施を命ずることが出来る。

その場合は、清掃従事者は忠実に業務を実行すること。

(ク) 日常業務において不明な点は病院職員と協議して処理すること。

【別記2】

仕 様 書
〔 愛媛県立南宇和病院清掃業務 〕

1 共用部分

区 分	清 掃 部 分	面 積
地 階	廊下・EVホール・階段	159.66 m ²
〃	便所	12.27
1 階	各廊下・各種ホール・階段等	1,241.38
〃	便所	117.86
2 階	各廊下・EVホール・階段等	313.77
〃	便所	31.30
3 階	廊下・EVホール・デイルーム・階段等	488.80
〃	便所・汚物処理室・浴室等	96.18
4 階	廊下・EVホール・デイルーム・階段等	488.80
〃	便所・汚物処理室・浴室等	96.18
5 階	廊下・EVホール・階段等	67.97
合 計		3,114.17

◎ 清掃方法

- ・ 毎日（日曜日を除く。）モップ拭き。ただし、便所のタイル床及び浴室は、水洗いとする。
- ・ 4ヶ月に1回（年3回）、床面洗浄ワックス掛け。
（ただし、上記のうちワックス掛け面積は、2,760.38m²とする。）

2 専用部分

区 分	清 掃 部 分	面 積
地 階	栄養事務室(旧称:給食事務室)	25.69 m ²
1 階	診察室・事務室・薬局・検査室・放射線等各室 発熱外来内廊下、倉庫	2,054.53
2 階	管理棟各室・人工透析室・手術室・中材事務室 等	754.53
3 階	ナースステーション	106.16
〃	病室	766.03
4 階	ナースステーション	100.86
〃	病 室	820.15
合 計		4,356.15

◎ 清掃方法

- ・ 毎日(日曜日を除く。)モップ拭き。ただし、3階東病棟の一部は2週間に1回程度、1階看護師更衣室は1週間に1回程度とする。
(ただし上記のうち、地階栄養事務室・看護師仮眠室・男女更衣室・医事事務室・初診再診受付・薬局事務室・人間ドック控室・コンピューター室・副院長室・医師執務室・医局・医師当直室・看護部長室・事務局長室・事務室・大会議室・小会議室・図書室・研修室・手術室・中材事務室は除くものとする。(別添を参照))
- ・ 4ヶ月に1回(年3回)、床面洗浄ワックス掛け。
(ワックス掛けは、上記専用部分も全て行う。)

3 ガラス・サッシの清掃

面積 1,112 m²

年間2回の清掃とする(ただし、別途委託とする。)

4 手術室、給食調理場の清掃

別途仕様につき、別に委託する。

ただし、給食調理場のグリーストラップの清掃は次のとおりとする。

ア バスケットのごみ取り及び清掃を毎日する。

イ 汚水の汲上とグリーストラップ全体の清掃を週1回する。

5 リカバリー室、未熟児室、診察室等の清掃等

2階リカバリー室、3階未熟児室、診察室等の清掃等を次のとおり行う。

清掃の場所及び頻度

階数	清掃場所	清掃頻度
2 階	【Aブロック】 リカバリー室	月 1 回
3 階	【Bブロック】 未熟児室、新生児室、沐浴室、授乳室、 調乳室、陣痛室、汚物処理室及び廊下	週 1 回
	【Cブロック】 分娩室	月 1 回

清掃区域詳細は、別紙図面（2階、3階）のとおり。

◎清掃の内容

（1）床面

モップ拭き（必要に応じて雑巾拭き）

（2）流し・洗面台・トイレ

水洗い（必要に応じて薬品を用いて洗浄）

汚物がある場合は搬出処理すること。

（3）その他

モップ拭きは、新しいフローリングペーパーを使用すること。

手洗い薬液の補充、トイレットペーパーの補充（物品は病院負担）

6 院内感染強化対策事項

床面はダストクロスや箒等で除塵し、モップを使用し除菌剤の塗布及び拭き上げを行う。

ドアノブ・手摺は、使い回しを改め専用タオルを使用し、消毒薬により専用使用を徹底して清拭する。

トイレ清掃は、通常の清掃のうえに手摺・扉・間仕切りを1日1回以上拭浄するほか、水タンク・排水レバー・配水管等器具も1日1回以上拭浄するなど、徹底した清掃の強化を図る。床面は専用のダストクロス・モップを使用して行う。

なお、甲がノロウイルスの発生等、特に感染対策が必要と判断し指示したときは、外来、病棟等において消毒薬による清拭回数を増やすものとする（目安：1日2回程度）。

おって、日常清掃時における使用薬剤の製品安全データシートを事前に提出するものとする。

7 その他

- (1) ゴミは、毎日（日曜日を除く。）分別収集するものとする。
- (2) 屋外は、適時清掃を行う。（排水溝等の点検清掃も行うこと）
- (3) 屋上部分は、適時清掃を行う。
- (4) カーペット部分は、クリーニング清掃を行う。（別途委託とする）
- (5) 地階の霊安室、家族控室は、適時清掃を行う。
- (6) 地階の解剖室は、月1回清掃を行う。（床タイルは水洗い）
- (7) 医師当直室は毎日（日曜日を除く。）、除塵清掃、シーツ・布団カバー・枕カバーの交換を行うとともに、ユニットバス・トイレについては毎朝確認し、適時清掃を行う。なお、交換用のシーツ等は病院が用意する。